

2018年後期 日本語研修上級コース

授業名

日本語聴解 1

担当教員（メールアドレス）

青木

曜日・時間

火曜日 8:40～10:10

授業の目的

書いたり読んだりする中・上級の語彙は豊富でも、聴解では聞き取れないという問題を解消するために耳で聞き理解できる中・上級の音声語彙を増やすこと。また未知の語彙に遭遇した際、その意味を類推したり聞き飛ばしたりするスキルをこれまで以上に強化し、得た情報に対して適切に反応できるようにすること。

授業の概要

同音異義語や類似した音を持つ語による聞き取りにくさの問題、また文化的社会的な背景知識の有無の問題などにも配慮しながら、聴解力のレベルアップを図る授業を展開する。毎回 前回の授業内容を確認する小テストを行う。聴解の内容は①会話、②説明（講義、研究発表、製品や観光地の説明など）、③ニュース（天気予報を含む）等 から適宜取り上げる。

到達目標

聞いて理解するだけでなく、聞き取った情報に対して 共感を示したり、理解できない点については聞き返したりするための よりレベルアップした適切な反応ができる能動的な聞く力を身につける。

授業の計画

- (1) 10月16日(火) チェックテスト、聞き取りのための基本的なストラテジーの確認 等
- (2) 10月23日(火) 会話 聞き取り①
- (3) 10月30日(火) 会話 聞き取り②
- (4) 11月 6日(火) 会話 聞き取り③
- (5) 11月13日(火) 会話 聞き取り④ (*補講にする場合あり)
- (6) 11月20日(火) 説明 聞き取り①
- (7) 11月27日(火) 説明 聞き取り②
- (8) 12月 4日(火) 説明 聞き取り③
- (9) 12月11日(火) 説明 聞き取り④
- (10) 12月18日(火) 説明 聞き取り⑤
- (11) 1月 8日(火) ニュース 聞き取り①
- (12) 1月15日(火) ニュース 聞き取り②
- (13) 1月22日(火) ニュース 聞き取り③
- (14) 1月29日(火) ニュース 聞き取り④
- (15) 2月 5日(火) ニュース 聞き取り⑤
- (16) 2月12日(火) まとめ(総復習)、チェックテスト (*補講にする場合あり)

教科書

必要なハンドアウトは 授業ごとに配付する。教科書、参考書等は 適宜紹介する。

成績評価基準

授業中の課題、小テスト、出席、授業への取り組み状況等をもとに 総合的に評価する

予習復習のアドバイス

①前回の授業内容について確認する小テストを行うので よく復習をしておくこと。②NHKのウェブサイト、NEWS WEB EASYをよく聞いておく。また同じトピックの普通のニュースを聞いたり、ニュースの新聞記事を読んだりして理解度を深めておくこと。

2018年後期 日本語研修上級コース

授業名

日本語聴解2

担当教員（メールアドレス）

古山

曜日・時間

金 10:25~11:55

授業の目的

大学で学ぶために必要な日本語、特に講義や口頭発表を適切に聞くための聴解力を養成する。

授業の概要

毎回ひとつのテーマについてのまとまった文章を音声で聞きとり、内容の理解を確認する。文章全体の構成を意識しながら要点をまとめる練習をする。余裕があれば、テーマについて話し合いやディスカッションをする。

到達目標

文章全体のテーマ、構成を理解し、要点をまとめて書くことができる。

授業の計画

1. 10/12 (金) テスト①
2. 10/18 (木) 聴解① ※8:40~10:10 (10/19の振り替え)
3. 10/26 (金) 聴解②
4. 11/2 (金) 聴解③
5. 11/7 (水) 聴解④ ※ (11/9の振り替え)
6. 11/16 (金) 聴解⑤
7. 11/30 (金) 聴解⑥
8. 12/7 (金) 聴解⑦
9. 12/14 (金) 聴解⑧
10. 12/21 (金) 聴解⑨
11. 1/11 (金) 聴解⑩
12. 1/17 (木) 聴解⑪ ※12:50~14:20 (1/18の振り替え)
13. 1/25 (金) 聴解⑫
14. 2/1 (金) 聴解⑬
15. 2/8 (金) 聴解⑭
16. 2/15 (金) テスト②

教科書

留学生のためのアカデミックジャパニーズ聴解[中上級] スリーエーネットワーク
(レベルによって[上級]を使用)

成績評価基準

出席(30%)、授業態度(20%)、宿題提出(20%)、テスト(30%)

予習復習のアドバイス

宿題は必ず提出してください。

2018年後期 日本語研修上級コース

授業名

日本語表現 1

担当教員（メールアドレス）

遠藤

曜日・時間

木曜日 7・8 (14:35～16:05)

授業の目的

大学で必須の「書く力」、アカデミックレベルの文章を書く技術を養成するとともに、ライティング力の基礎を見直し強化する。

授業の概要

具体的な場面を想定した実践練習で、前後の意味を考えた表現を考える。そして応用へと進む。短文から始め、段落構成、長文へと書き方を学ぶ。その過程で、自らの固定化した間違いに気づくことで徹底的に日本語の構造に関する間違いを正し、演習を通して正しい日本語表現を考える。

到達目標

学部の授業において課される論理的なレポート作成など、大学生としての日本語が正しく書けることを目標にする。

1 10月11日（木） 〈イントロダクション〉 ・短文から段落作成へ①簡潔に書く 1

2 10月18日（木） ①簡潔に書く 2

3 10月25日（木） ②情報を文にする

4 11月 1日（木） ③状況説明

5 11月 8日（木） ④段落を作る

6 11月15日（木） ・ F B

7 11月29日（木） いろいろな文章を書く ①報告文

8 12月 6日（木） ・ F B

9 12月13日（木） ②意見文

10 12月20日（木） ・ F B

11 1月10日（木） レポートを書く・基礎知識

12 1月17日（木） ・資料を利用する①

13 1月24日（木） ・資料を利用する②

14 1月31日（木） ・資料を利用する③

15 2月 7日（木） 試験

16 2月14日（木） 総括

教科書

「大学で学ぶための日本語ライティング」The Japan Times ・「小論文への12のステップ」スリ-I-ネットワーク

成績評価基準

出席30%、宿題30%、態度20%、試験20%

予習復習のアドバイス

宿題は必須です。必ず期限を守って提出してください。宿題の見直しは必ずしなければなりません。語彙の予習をし、未習語彙は積極的に学びましょう。

2018年後期 日本語研修上級コース

授業名

日本語表現 2

担当教員（メールアドレス）

山木

曜日・時間

金曜日 08:40-10:10

授業の目的

場面や目的に応じて適切に運用できる日本語の習得を目指す。

授業の概要

大学生活に必要なメールやレポート等で使われる文章表現を学ぶ。

到達目標

メールやレポート等の書き方の基礎を理解し、適切な文章が書けるようになる。パラフレーズが使えるようになる。

授業の計画（日にち・内容）

10/12 レベルテスト トレーニング1 パラフレーズ演習第Ⅰ部第1課

10/19 トレーニング2 パラフレーズ演習第Ⅰ部第2課

10/26 トレーニング3 パラフレーズ演習第Ⅰ部第2課

11/2 トレーニング4 パラフレーズ演習第Ⅰ部第3課

11/7 トレーニング5 パラフレーズ演習第Ⅰ部第4課

11/16 トレーニング6 パラフレーズ演習第Ⅰ部総合問題

11/22 トレーニング7 パラフレーズ演習第Ⅱ部第1課

11/30 トレーニング8 パラフレーズ演習第Ⅱ部第2課

12/7 トレーニング9 パラフレーズ演習第Ⅱ部第3課

12/14 トレーニング10 パラフレーズ演習第Ⅱ部第4課

12/21 トレーニング11 パラフレーズ演習第Ⅱ部総合問題

1/11 トレーニング12 パラフレーズ演習第Ⅲ部実践問題1

1/25 トレーニング13 パラフレーズ演習第Ⅲ部実践問題2

2/1 トレーニング14 (1) パラフレーズ演習第Ⅲ部実践問題3 (1)

2/8 トレーニング14 (2) パラフレーズ演習第Ⅲ部実践問題3 (2)

2/15 テスト パラフレーズ演習第Ⅲ部実践問題3 (3)

教科書

日本語を書くトレーニング（ひつじ書房）

アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習（スリーエーネットワーク）

成績評価基準

出席率、宿題の提出の有無、テストの点数などを考慮し、総合的に成績判定を行う。

予習復習のアドバイス

分からない単語は、予習の時に各自調べて来てください。復習する時には、学んだことをノートにまとめるようにしましょう。

2018年後期 日本語研修上級コース

授業名

日本語読解

担当教員（メールアドレス）

秋永

曜日・時間

月曜日 10:25-11:55

授業の目的

大学で受講する授業の教科書や、配付される資料を自力で読み、概要を理解できるようになるための技術を身につける。難しそうな文章だと感じても諦めることなく取り組めるよう既習の文法や語彙の復習・強化も図る。

授業の概要

各課ごとに設定されている習得すべき読解ストラテジーを1つずつ確実に身につけながら、様々な文章を読む。最終的には長文が読めるようになることが目標だが、必要に応じて短文読解や速読も取り入れる。

到達目標

1. さまざまな読解の技術（読解ストラテジー）を習得する。
2. 習得した読解ストラテジーを意識して使い、様々なジャンルの文章が読めるようになる。
3. 既習語彙、文法の確認、補強をし、短時間で読めるよう努力する。

授業の計画（日にち・内容）

1. 10月9日（火） 【開始時確認テスト】 / 第1課 語のまとまりをとらえる
2. 10月15日（月） 第2課 「する／される」の関係をつかむ
3. 10月22日（月） 第3課 文の構造をとらえる
4. 10月29日（月） 第4課 前件と後件の関係をつかむ
5. 11月5日（月） 第5課 「これ」「それ」が指すものを考える
6. 11月12日（月） 第6課 省略されているものが何か考える
7. 11月19日（月） 第7課 関連のある言葉を探す
8. 11月26日（月） 第8課 文末に注目して筆者の意見を見抜く
9. 12月3日（月） 第9課 筆者の立場を見分ける
10. 12月10日（月） 第10課 大切なことを伝えるサインをつかむ
11. 12月17日（月） 第11課 目印を使って内容を整理する
12. 1月7日（月） 第12課 内容を素早く理解する
13. 1月21日（月） 第13課 文章の話題を見抜く
14. 1月28日（月） 第14課 ストーリーを上手に読む
15. 2月4日（月） 第15課 読み間違いを見つける
16. 2月18日（月） 【終了時確認テスト】 テストの解説

教科書

- ・留学生のための読解トレーニング 凡人社
- ・新訂版 読むトレーニング応用編 スリーエーネットワーク

成績評価基準

授業中の小テスト（前回授業の語彙）、提出物（宿題）、授業態度などを総合的に評価する。
出席20%、宿題・態度30%、小テスト20%、終了時テスト30%

予習復習のアドバイス

自信を持って授業に出席できるように、予習では語彙リストを使って分からない語彙は意味を調べておいてください。宿題の読解問題は大切な復習です。授業で学んだことを思い出して読んでください。

2018年後期 日本語研修上級コース

授業名

科学技術日本語

橋本

曜日・時間

月曜日8:40~10:10

授業の目的

学部入学したときに、理系の用語・表現などを聞きとったり、書いたりすることができる

授業の概要

科学技術日本語を学習し、日本語での理系の講義や教科書が理解できるようにする。

到達目標

高校卒業程度の理系の内容を日本語で聞いたり読んだり、また書いたりすることができる。
特に、数式や化学記号、実験用具などを日本語で聞き取ったり言ったりすることができる。

授業の計画

10月9日(火) プレテスト 数の読み方、式の読み方

2018/10/15 割合を表す表現、平面図形 位置・方向・距離

2018/10/23 立体図形、図形に関する表現

2018/10/29 単位、位置を表す表現

2018/11/5 手を動かす基本動作 化学用語(1)

2018/11/12 ものを動かす基本動作 化学用語(2)

2018/11/19 ものの形を変える基本動作 カタカナ用語(1)

2018/11/26 道具や手を使う動作 カタカナ用語(2)

2018/12/3 水を使う動作 比較・対比表現

2018/12/10 火を使う動作 類似表現

2018/12/17 物質の三態と材料 原因や理由の表現

2018/1/7 目で見た性質・状態 根拠の表現

2018/1/21 手で触った性質・材料 構成・列挙の表現

2018/1/28 耳で聞いた性質・状態 提示・定義・分類の表現

2018/2/4 変化を表す表現 グラフの表現

2月15日(金) ポストテスト

教科書

- ・「科学技術基礎日本語 留学生・技術研修生のための使える日本語」凡人社
- ・「科学技術日本語案内」慶應義塾大学出版会
- ・ 本学教員の講義ビデオ

成績評価基準

出席率・授業態度(30%)、課題・宿題提出(20%)、小テスト・期末テスト(50%)

予習復習のアドバイス

授業の初めに、前回の内容と宿題(自習用教材)のテストを行う。しっかり復習と宿題をすること。

2018年後期 日本語研修上級コース

授業名

語彙・漢字

担当教員（メールアドレス）

橋本

曜日・時間

金曜日 14:35-16:05

授業の目的

大学生として日常生活や授業で適切に運用できる日本語の習得（漢字や語彙）を目指す。

授業の概要

大人として生活するために必要な語彙や漢字、また大学での講義を聞いたりレポートを書くときに必要な漢字や語彙、文型を総合的に学ぶ。

到達目標

N 1レベルの漢字や語彙を含めた表現を習得し使えるようにする。単に漢字や語彙を知識として取得するだけでなく、使えるように学習・練習する。

授業の計画

10/5 プレテスト

10/12 上級漢字1 語彙（料理）

10/19 上級漢字2 語彙（病気・症状）

10/26 上級漢字3 語彙（服）

11/2 上級漢字4 語彙（性格）

11/9 上級漢字5 語彙（不動産）

11/16 上級漢字6 語彙（結婚）

11/30 上級漢字7 語彙（季節）

12/7 上級漢字8 語彙（慣用句・ことわざ）

12/14 上級漢字9 語彙（観光）

12/21 上級漢字10 語彙（グラフ）

1/11 超級漢字1 語彙（自然・科学）

1/18 超級漢字2 語彙（基本的概念）

1/25 超級漢字3 語彙（文化・国家）

2/1 超級漢字4 語彙（制度・流通）

2/8 ポストテスト

教科書

考える漢字語彙・上級編（ココ出版）、考える漢字語彙・超級編（ココ出版）、
にほんご語彙力アップトレーニング（アスク）

成績評価基準

毎回、前回の内容と漢字の宿題の小テストを行い、出席とテストの合計点で成績判定を行う。

予習復習のアドバイス

復習と宿題をしっかりと、小テストでは100%が取れるようにしてほしい。